

# 波紋 Ripple



No. 314号

平成23年8月  
2011 Aug.

## 「塩ビもののづくりコンテスト」



この度開催された「塩ビもののづくりコンテスト」、弊社からのエントリーも2作品が受賞し、特別賞として牧野マネージャーの作品が特別賞、岩間リーダーは入賞となりました。

7月7日に東京の如水会館にて行われた、表彰式の様子と作品の画像をご覧ください。大賞は「該当作品無し」となったものの、準大賞を受賞した2作品も、いずれも森松がサンプル作製を協力した作品で、私達も大変嬉しく思っております。

次回の開催も非常に楽しみです！

### 【準大賞】

名倉 奈央子「優雨 やささめ」 【協力企業：森松(株)】  
長谷川 菜実「サクラ」 【協力企業：森松(株)】

### 【特別賞】

森松(株) 牧野光昌「一輪挿し・菱紋筒」

### 【入賞】

森松(株) 岩間正美「手編み集光バック」



一輪挿し・菱紋筒



手編み集光バック

### 「企業とコミュニケーション」

社長 森 直樹



人と人がコミュニケーションするようには、企業も、社会と接点を持ちます。それはその会社が何で成り立っているかによりポイントが異なりますが、この社会とのコミュニケーションが成立しなければ、この企業は顧客が求めていることが掴めていない、あるいは企業側では良かれと思っていることが実は社会の役に立っていない、つまり必要とされない企業と言うこととなります。

相手が有つてのコミュニケーションですが、バランスも重要です。相手に合わせているだけでは自分自身の価値は薄まりますし、また自分の意見が無いと言うことになりません。逆に、相手が到底受け入れられない、合わないことを主張し続けていても無駄なことでは、一体どうするのか。

そこでは小手先のテクニックではなく、その企業の総合的な力が企業のコミュニケーションの要素だと思えます。従業員一人一人から発せられる言葉は、日々の仕事、そして企業の教育から出てくるものであり、またその企業の製品は物言わずとも、その企業の思想、文化、体質を語っているものではないでしょうか。つまるところその企業のトップが企業の文化を創り、そして社会へ伝えることにより認知され、また従業員がそれを継承していく。その企業の持つ要素一つ一つが、その組織を物語っているでしょう。

森松が社会からよりいっそう必要とされる企業となるべく、質の高いコミュニケーション力を備えた企業であり続けたいと思えます。

## 【塩ビものづくりコンテスト】

安井 浩二(企画営業部)



塩ビものづくりコンテストが行われました。今回、大賞はなかったものの準大賞として2作品が選ばれました。この2作品とも弊社が関わったことに大変、嬉しく思います。ひとつは、「優雨」これは、種子島の主婦である名倉さんが和紙を塩ビコーティングし強度を補強するとともに、薄い中にも奥行きのある繊細なイメージの傘。この作品をコンテストの事務局から加工依頼。正直、厳しい課題でしたが、材料選択として和紙調のテールブルクロスを選択。傘にするには、やはり専門職ということで、以前、ビニール傘を作っていた(株)伊藤商店さんへお願いする。しかし、通常フィルムは0.08mm。今回の材料は0.3mmと先端がうまく納まるかと頭をひねられていたが、「プロの意地を見せてほしい」とゴリ押しした結果、さすがは職人。見事な出来具合でした。もうひとつは、「サクラ」桜台高校(ファッション文化科)の長谷川さんが集光シートを使った衣料用デコレーション。この作品のきっかけは、彼女が、学校行事のファッションショーで以前、サンプルで渡した集光シートを使いたいとの理由にて来社。「何を作ったの?」とカバンからごそごそと「これです。」と見せてくれたのが衝撃的でした。軟質塩ビの集光シート特長をうまく生かし、曲線から成り立つ立体感と断面の光を造形的な物でした。さらに驚いたのが、一枚のシートに四方に切り込みを入れただけの単純な作りでした。勿論、彼女は、この形にするまでは、何度も材料を切ったり、編んだり試行錯誤した結果です。この形を応用すればトレーなどにも使用可能とエントリースペースでもらった結果でした。今回の塩ビものづくりコンテストを通じて、この2作品と関わったことにより「ものづくり」に対する発想と愛情、そして執念を学ばせて頂きました。今後、経験がうまく生かして固定観念に縛られず、柔軟な発想を受け入れるような姿勢で臨みたいと思います。また、この作品のために、加工・材料提案・材料提供して頂きました取引先の皆様にあらためて御礼申し上げます。ありがとうございます。

## 【何ができる?】

黒松 康郎(東京オフィス)



震災から4ヶ月経ちました。被災した方々の姿をテレビで見ているだけで、何もできない自分に何か空間を感じてしまいます。仙台に行った方が、「あの仙台が、何も手が付けられていない」この言葉からやっぱり復興には、たいへんな時間がかかると実感します。3/11以降、しばらくは首都としての機能は果たさず、暗く人も少なかった東京も6月くらいから人が戻ってきたのかなと思います。慣れと言うのはすごいもので、多少の余震程度ではびつくりすることもなく笑っていられる東京の人達の逞しさを感じます。でも人が戻ってきてても何か活気もないその場しのぎのようにも思えます。心が戻っていないのかな。将来への「不安」は大きくなっている人達が増えているのでしょうか。製造業の益々の「空洞化」そんな中で輪をかけているような「円高」近い将来、日本の若い人たちはどこで働くのだろうかと思う。日本は製造もしない、消費もしない国になっていくのかな。でも生産拠点を海外に求めても、安全な国なんてあるのかと最近思います。先日、上海に行きました。新天地という場所には、3億円、4億円もするマンションが販売されていました。高層マンションですね。今、上海で大きな地震があったらどうなるのだろうか。この高層マンションは安全なのか、上海の高層ビルもどうなるの。救援活動するのに、足の踏み入れる場所はあるのかな。なんて感じてしまいました。命の為、世界経済の為、将来の為に何も起こらないことを祈ります。過去に感じた事のない感覚で、すごいスピードで変化していく今の時代その変化が「不安」という感覚になるのか。その場しのぎの「群れ」で、何も手をつけられずただ時間が経過するのか。群れる事で「団結」して、よい方向性が生まれるのか。復興は時間がかかっても、世界感覚のスピードは待たずくれる訳がない。このスピード感が、良いのか悪いのか、震災を忘れさず。すごいスピードですごく考えて、行動しないといけない、と自分に言い聞かせる最近です。本当に未来の為に何ができるのかな。

# しんしょうひん

高透明遮熱・自己粘着性ウィンドウフィルム

eco

## サーミオンクリア

アキレス(株)製

### 製品仕様

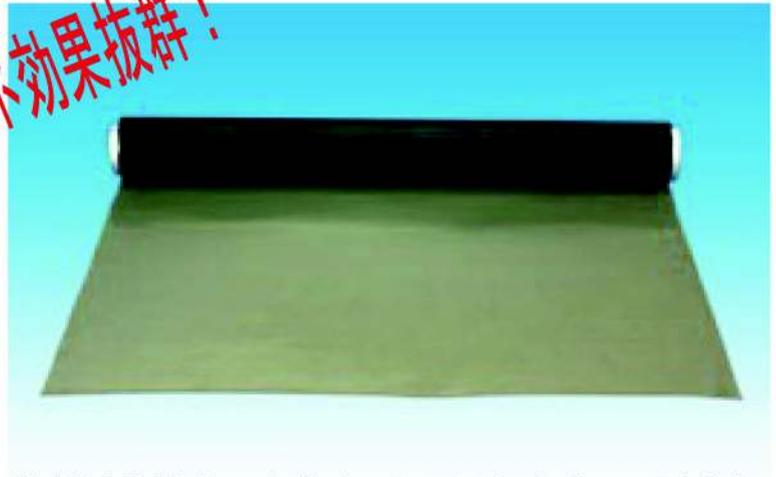
規格:0.2mmx1000mmx20m巻き  
素材:軟質PVC(塩化ビニール)

### 通販好評販売中!

大特価にて対応させていただきます。  
価格の問い合わせは光田まで。

森松株式会社  
企画営業部 光田 昭男  
TEL:052-612-8899  
FAX:052-612-8884  
E-mail:mitsuda@morimatsu.net

省エネ効果抜群!



熱線遮蔽粉を配合することにより、室内の明るさを確保するために必要な透明性を維持しながら、窓から侵入する近赤外線を効果的に遮蔽し、室内温度の上昇を和らげる高透明遮熱・自己粘着性フィルムです。

## 組み立て式小物入れ

### 製品仕様

サイズ:197mmx110mmx50mm  
※その他サイズご希望の場合は別途ご相談ください。

素材:PP(ポリプロピレン)0.5mm厚

印刷:UVオフセット印刷

加工:抜き

最低ロット:1000枚

森松販売価格:320円/枚

<問い合わせ先>  
森松株式会社  
企画営業部 黒松 康郎  
TEL:03-5733-0955  
FAX:03-5733-0956  
E-mail:kuromatsu@morimatsu.net

使用時に簡単組み立てれ  
収納便利!



# 8月の予定

1日(月) 河野光代さん誕生日

2日(火)

文紙メッセ マイドーム大阪

6日(土) 第一土曜日休み

11日(木) 休業実施日

12日(金)

夏季休業

16日(火)

14日(日) 福重貞子さん誕生日

15日(月) 酒井美登江さん誕生日

18日(木) 小坂美香さん誕生日

20日(土) 第三土曜日休み  
(休業実施日)

22日(月)

生産会議 12時～13時30分

CS向上会議 14時10分～15時

経営会議 16時10分～17時

27日(土)

第四土曜日休み  
大石耕平さん誕生日

## 【自己紹介】

伊東 義弥(特販部)



4月から新入社員で入社した伊東義弥です。趣味は学生時代より始めたバスケットボールで、小さい頃はプロバスケット選手になるのが夢でした。今でも、週一のペースで体育館で走り回って汗を流しています。森松の皆さんとは、幼い頃より家族忘年会で何度もお会いしていたので、入社前から面識がある方が多くいらっしやいます。私の父は自宅では仕事に関する話は一切しないため、「森松」のイメージがなかなか出来ませんでした。入社後は要工場での研修で今まで見たこともない機械がたくさんあり、そんな環境のなかでデスクマットについての研修をさせてもらいました。表面がベタ付くタイプの生地やサラサラしているタイプの生地などがあり、一言でデスクマットと言っても多種多様でとても感激しました。本社1・2階、倉庫業務と、数百種類在庫している生地(原反)の置き位置や品名や生産メーカーなどを勉強させて頂いて、裁断場・配送とやって、どここの仕事も、大変やりがいのあることばかりで、特に配送での納品は末端業務としての責任を大きく感じました。まだまだ至らない事だらけで迷惑をかけると思いますが、ご指導宜しくお願い致します。

## 【節電】

大橋 康成(配送部)



3月11日に発生した東日本の震災にボランティアに行けなくても一人でもすぐに支援・協力できることはたくさんあると思います。簡単に出来るのが節電だと思います。家庭で、会社で、一人ひとりが少しずつ節電の努力をすることが、被災地の復興と安定した電力供給につながると思います。家庭の中で特に電気消費量が多いのは、エアコン、冷蔵庫、照明、テレビの4つです。これらをはじめとする家電製品を上手に使うことで、効果的に節電することができます。また、日中のピーク時を避けて電化製品を利用することも、電力供給の安定を保つために重要な方法です。

- ① エアコンの設定温度は控えめにしよう。
- ② エアコンのフィルター掃除をこまめにしましょう。
- ③ カーテンなどで直射日光を避けましょう。
- ④ 冷蔵庫の開閉は、極力短く少なく。
- ⑤ 熱いものは、冷ましてから冷蔵庫に入れよう。
- ⑥ 冷蔵庫の詰め込み過ぎに注意をしよう。
- ⑦ 不要な照明はこまめに消そう。(LEDへの取替)
- ⑧ 家族みんなで1台のテレビを楽しもう。
- ⑨ まとめて洗いで洗濯回数を減らしましょう。
- ⑩ 晴れの日は、乾燥機を控え、外になるべく干そう。
- ⑪ お風呂の残り湯を洗濯にも使おう。
- ⑫ 掃除をする前に部屋を片付けておこう。
- ⑬ 食器のまとめ洗いを心がけましょう。
- ⑭ ポットや炊飯ジャーの保温時間は必要最低限に。
- ⑮ 便座の設定温度は控えめにしよう。
- ⑯ 待機電力のムダな消費は押さえましょう。

他にもいろいろ工夫してこの暑い季節を乗り越えたものです。